

ウクライナのための祈りの呼びかけ その3

「悪を離れて 善を行い 平和を求め それを追い続けよ。」

旧約聖書・詩篇 34 篇 14 節

ロシアによるウクライナへの軍事侵攻から一年が経ちました。一度始まってしまった戦争を止めることがいかに難しいか、戦争による暴力と悲惨さがいかに人間を傷つけるか、平和をつくり、それを維持することがどれほど高度な営みであるかを痛感させられる日々です。

このような状況に諦めを抱いたり、無関心に流されたりすることなく、むしろ一層の熱心さをもって祈り続けることを願い、以下のように祈りを呼びかけます。

平和の主なる神よ。

昨年 2 月 24 日に始まったロシアによるウクライナへの軍事侵攻から一年が経ちました。

人々の生活の場が破壊され、廃墟のようにになっている姿に深い痛みを覚えます。

多くの兵士たちが命を落とし、市民たちが暴力にさらされ、命を奪われている姿に深い悲しみ覚えます。

どうか主がその御手を差し伸べて、この争いを速やかに終わらせてください。

ロシアの指導者が考えを改め、軍がただちに侵攻をやめて撤退するようにしてください。

ウクライナの地に平和と安全をもたらしてください。

各国の指導者たちに平和を求める知恵と洞察力、判断力をお与えください。

多くの傷ついた人々の心と体を癒やし、あなたの愛となぐさめを注いでください。

戦争の悲惨さや愚かさを学んできたはずの私たちは、それでも剣から手を離すことができずにいます。

剣を振り上げた手を下ろすことも、下ろさせることもできずにいます。

このような罪深く愚かな私たちをあわれんでください。

悪を離れて善を行い、平和を求め、それを追い続けることができるように、

私たちに神を恐れること、祈ること、正義を行うことを教えてください。

祈り続ける忍耐を与え、祈りが促す平和のための働きかけに、私たちを押し出してください。

平和の君なる主イエス・キリストの御名によって祈ります。

アーメン。

2023 年 2 月 24 日

日本同盟基督教団理事会
理事長 朝岡 勝